

YANMAR EX38

メーカー希望小売価格 ¥32,048,784(税込)

全長 12.39m 全幅 3.40m 全深 1.93m 総トン数 5G/T超
航行区域 限定沿海/沿海 最大搭載人員12名 免許資格 2級以上
エンジン型式 6CXBS-GT 最大出力 495PS

※価格はオプション等抜き。撮影艇にはオプションが含まれております。
価格及びオプションの詳細はお問い合わせ下さい。

BOAT IMPRESSION

2015 NEW MODEL

YANMAR EX38



走りの乗り味としてはレスポンスが非常に良いところが特徴的。爽快な加速感だけでなくステアリングを切ったときの旋回性に関しても非常に反応が良い。素直な走りが楽しめ、乗り心地は抜群だ。また、従来船型より水線長が長く、パンチングはヘルムより比較的前方に伝わるため、ヘルムにはパンチングが伝わりにくい。

1クラス上の乗り心地とオールマイティーに釣りを楽しめるフィッシングクルーザー。それがヤンマー船用システムから登場した「EX38」だ。今年のジャパンインターナショナルボートショーやこのエリアで開催された名古屋ボートショーでも参考出品された際、高い注目を浴びていたボートがいよいよ本格的なデビューを迎えた。まず、走りの特徴からお伝えすると、EX38は非常に素直な走りを楽しめるという事を挙げておきたい。スロットルを倒して間もなくスムーズにプレーニングに入り、ステアリングを切れば反応良く旋回していく。動きが身軽で操船側も乗船側も乗っていてストレスを感じない。長時間乗っていても疲労

を感じにくく、この点はボートに普段あまり乗らないゲストの方達からも喜ばれそうだ。EX38は従来船型より水線長が長く、40フィート並みの乗り心地を体感する事が出来た。また、これにより波を切る際のパンチングも操船している場所よりも前方に伝わるため、操船しながら振動を受ける場面も非常に少ない。更には大型フィンキールやパウスラスタをより前方に設置していることにより、凌波性、風流れ抑制、スラスタの効き目などが向上しており、メリットが多数生まれている。走りの数値面では2,200回転で24.5ノットを記録し、マックスでは2,700回転で34ノットを記録した。これだけの数値が出れば、確かに乗って



エンジンが掛かっているにもかかわらずキャビン内は当然静かなのだが、走行時の静粛性も非常に高い。取材中25ノット、約2,400回転で走っていても、キャビンで楽に会話が出来た。キャビンの床面は二重で中空部には吸音材も施され、エンジン防振支持と排気消音器も装備されているため、快適なキャビンを楽しめるのだ。

て身軽な感覚を覚える訳である。また、燃費面では34ノットで1時間辺り100.7Lと非常に効率良く走る事が出来ている。燃料タンク容量は800Lと大きく、長時間の釣りのポイント移動だけでなく、長距離のクルージングにも十分適したボートと言える。この走りを可能にしているエンジン6CXBS-GTは良好な燃費性能に加え、クラストップレベルの高出力と低燃費を実現しており、ユーザーに快適な走りや操船する楽しさを味わわせてくれる。快適なキャビンでは静粛性も高く、クルージング中に会話をしているにもかかわらずエンジン音や外の音に邪魔をされるシーンは全く無かった。この静粛性は是非体感して欲しい部分で、試乗して

頂ければすぐに自分達の会話がキャビンに響いている事に気付いてもらえると思う。これだけの走行面、機能面でのメリットがある事に加えて、EX38は釣りのシーンにおいて更に輝きを放つ。ボートフィッシングでのジギングや餌釣りはもちろん、大型パウレールを装備しており、オフショアでのキャストゲームにも十分力を発揮してくれることだろう。更にはカジキを狙ったトロリングのシーンでも広いアフトデッキや素直な操作性でしっかりとターゲットを狙う事が出来そう。釣りのシーンにおいてこのボートが苦手とする釣り方を探す方が難しいくらい柔軟に設計されており、自身の釣りのスキルアップに合わせてど



取材協力 ヤンマー船用システム株式会社 西日本営業部 名古屋支店 愛知県海部郡蟹江町学戸2-33
TEL:0567-95-5043 URL <http://www.yanmar.co.jp/marine/index.html>



広いパウデッキには大型パウレールを配置。また、サイドデッキも広く、ここでも釣りが楽しめそう。また、アフトデッキの両端の幅も広めに設計されている。



アフトデッキにはアフトシンク、アフトステーション、イクス等が配置され、釣りが非常にし易い1艇である。イクスも両サイドにあり、深さも十分確保されている。



アフトデッキは非常に広く、是非注目して欲しい場所だ。エンジンは高馬力、デッキにはプロペラ点検窓もある。トランサムステップがあれば乗り降りもスムーズだ。

んどんボートが遊びのレベルに付いてきてくれるだろう。デッキ部分はパウデッキだけでも十分な広さ、釣りのスペースが確保されており、大型のパウレールは腰の周辺にしっかりとフィットするので、ロングキャストもし易そう。サイドデッキも幅が広く、デッキをぐるりと一周するのに体を横向きにせず歩いてしまった程。アフトステーションではより俊敏なボートの操船を行う事が出来るので、ジギングの際のポイント

移動や、トローリング時のファイト中にも効果を発揮してくれそう。また、イクスも2つ付いており、大型の青物を複数釣り上げても、十分に美味しく持ち帰ることも可能だ。アフトデッキに関しても最大幅2715mm、奥行き2900mm(EX40の奥行き2830mm)あり、スパンカーやファイティングチェアを装備しても面白い。ブルワークの高さも700mmあるため、釣りは抜群にし易いのだ。続いてキャビンのレイアウト



採光性の良いパウバースは高さもしっかり確保され、大人3人が横になれる。キャビンは清潔感に溢れており、マリントイレも装備されているので女性も安心だ。



白を基調としたヘルムステーションは操作性がとても良い。また、パネル類のデザインも実にお洒落だ。前後のスラスターを使用すれば離着岸も容易になる。



ヘルム前方には広いスペースが用意され光の反射も防ぐ。エアコンの効きも良好だ。キャビン全体の色使いがとてもお洒落で上質な空間を演出してくれている。

だが、こちらも天井最大高さ1840mmとなっており、幅も1930mm(EX40の幅1530mm)ありフロントとサイドのドアも大きく、視野がしっかりと確保されており、どこからでも開放的なキャビンからの景色を楽しめる。キャビン内は全体的に落ち着いた空間が演出されており、パッセンジャーシートも左右両舷にあるため、仲間や家族での団欒も可能になっている。他にもマリントイレの横幅は1270mmと広く

(EX40のトイレ幅870mm)、子連れのファミリーにも安心である。最後にパウバースは大人3人が横になれるので、早朝の釣りで疲れた時や、クルージングの合間に少し休みするのもピッタリな広さだ。これだけの機能や居住性の高さがあれば、このモデルがクルーザーとしてのポテンシャルも持っている事にお気づき頂けるだろう。またひとつ今年話題になりそうなフィッシングクルーザーが誕生した。